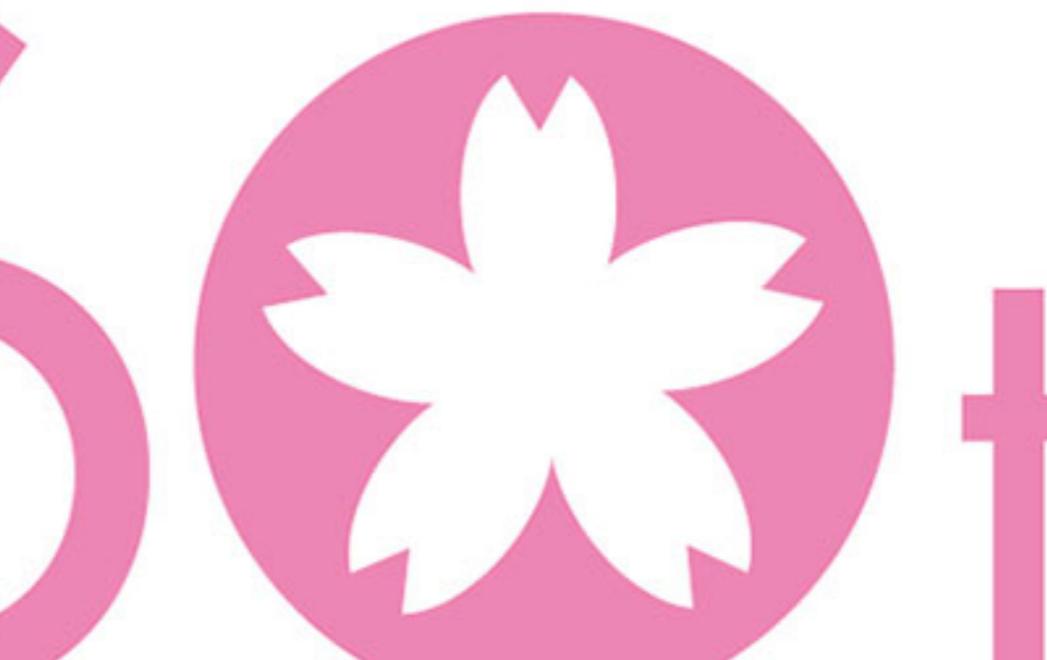




60th Anniversary

渋谷駅前共栄会 60 周年記念誌



60th Anniversary

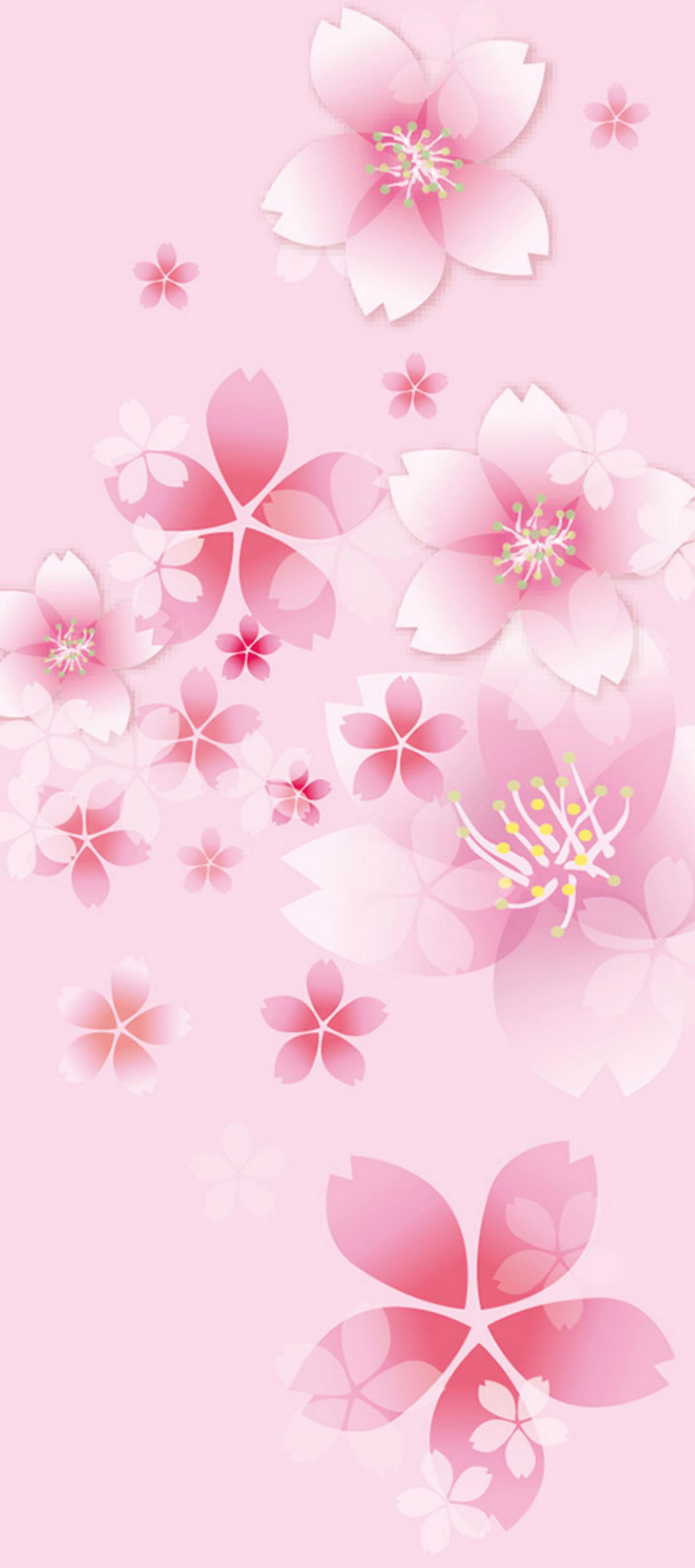
渋谷駅前共栄会 60 周年記念誌

編集：渋谷駅前共栄会 広報部

2024年1月15日 発行

発行元：渋谷駅前共栄会

渋谷桜丘の新しい時が始まる



未来に向けて、新しい渋谷桜丘のまちづくり



渋谷駅前共栄会 会長

青山 強志

60th anniversary greetings

Contents

- 05 ごあいさつ
- 06 渋谷区長 祝辞
- 07 渋谷区商店会連合会会长 祝辞
- 08 渋谷区桜丘町会会长 祝辞
- 09 株式会社東急不動産取締役常務執行役員 祝辞
- 10 東急ホテルズ＆リゾート株式会社常務執行役員
セルリアンタワー東急ホテル総支配人 祝辞
- 12 桜丘と渋谷駅前共栄会の歩み
- 32 桜丘のこれから

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、渋谷桜丘をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。また、渋谷駅前共栄会の活動にご理解とご協力を賜り、合わせて厚く御礼申し上げます。

ただいま渋谷駅周辺地区では、渋谷の未来のまちづくりに向けて、大きく動き出しております。桜丘地区におきましても、「渋谷サクラステージ」の竣工と桜丘ウエスト地区でも再開発準備組合が発足し、桜丘はこれから新しい街として生まれ変わろうとしております。

新しく生まれ変わる桜丘が、今までにも増して住み易く、商売がし易く、働き易く、訪れて楽しい、一層磨かれた桜丘となるためには、私ども渋谷駅前共栄会もこれを機に『まちづくり』の一員として積極的に参加し、会員の皆様の利益代表として、また新たな事業機会の発見、創造に向けて行動を起こす必要性を、痛感いたしております。そのためには、まず私ども自身が意識を変える必要があるとも考え、渋谷駅前共栄会の組織の整備、強化に向け、鋭意取り組んでいるところであります。

従来からの「桜まつり」に代表されるイベントをはじめ、新たな活性化に向けた事業、活動も企画し実施して、桜丘のエリアブランドを全国に発信する取り組みにもチャレンジして参りたいと思っております。私ども渋谷駅前共栄会としての努力はもとより、今後の取り組みへの会員の皆様、そして地域の皆様の幅広いご参加とご支援が不可欠と考えるものであります。皆様のさらなるご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

60周年を祝して



渋谷区長

長谷部 健

60th anniversary greetings

渋谷駅前共栄会が創立60周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、昭和38年の創立以降、永きにわたり桜丘エリアの商業振興と地域経済の発展に大きく貢献してこられました。歴代の会長はじめ会員の皆様方の御尽力と御功績に対しまして、心から敬意と感謝の意を表します。

去る令和5年11月30日に「渋谷サクラステージ」が竣工し、これまで地域の大きな課題であった、バリアフリー動線の不足や国道246号による渋谷駅との分断が解消され、安全で快適な歩行者ネットワークが構築されました。ウォーカブルなまちづくりが進展することで、来街者の利便性が高まり、まちの賑わいが一層増すことを期待しております。

こうした中、地域の暮らしを支える商店街が地域の活性化やまちの魅力向上に果たす役割は、これまで以上に大きくなっていくものと存じます。

本区としましては、商店街に寄り添い、ニーズを踏まえながら商店街の賑わいづくりや地域の魅力向上に取り組んでまいります。

貴会におかれましても、青山会長を先頭に商店街振興に御尽力いただき、更なる地域の発展に貢献していただくことを期待しております。

結びに、渋谷駅前共栄会のますますのご発展と関係者の皆様方のご多幸ご健勝をご祈念申し上げお祝いの言葉といたします。

渋谷駅前共栄会創立60周年を祝して



渋谷区商店会連合会 会長

大西 賢治

60th anniversary greetings

渋谷駅前共栄会創立60周年にあたり、渋谷区商店会連合会を代表いたしまして、衷心よりお祝い申し上げます。

貴商店会が創立以来幾多の困難を乗り越え桜丘地区の商業者の結集を図り、商業振興に格別の努力をされたこと、街づくりに貢献されたことは、偉大なる成果として敬意を表するところであります。今日の渋谷区商店会連合会の発展も、貴商店会のご支援ご協力があったことを改めて厚く御礼申し上げます。

さて、渋谷区は「100年に一度」と言われている大規模再開発の真最中です。桜丘地区においては、近年では最大規模となる複合高層ビル「渋谷サクラステージ」が完成し商業施設やオフィス、海外のビジネスを目的として訪日された方々の中長期に滞在できるサービス付き高級アパートメント、子育て支援施設など2024年7月頃を目指して順次開業が進められています。

道玄坂地区においても再開発が進められており、また宮益坂地区も再開発計画が発表され商業施設やオフィス、ホテルなどが建設設計画されています。今まで、桜丘地区と渋谷駅周辺地区は分断されていましたが、将来的には複合高層ビル同士が通路で連結され、今では想像ができないほどの人流が生まれ平和・国際都市渋谷に相応しい街になります。貴商店会が、渋谷駅周辺地区の賑わいの中心となって渋谷の街の活性化にご協力いただけたら幸いです。

ここに創立60周年への大いなる功績に祝意を表すとともに、貴商店会の益々のご発展と会員諸氏のより一層のご繁栄を祈念して祝辞いたします。

生まれ変わる街、渋谷桜丘に期待するもの



渋谷区桜丘町会 会長

和田 力夫

60th anniversary greetings

渋谷駅前共栄会の設立の1963年(昭和38年)は、我が国で本格的に都市計画法が制定された1968年の5年前のことでした。60年の変遷をたどってみると、街は変化の繰り返しで、現在につながる出来事としては、約25年前、大きな変化の兆しがありました。1998年オープンの住友インフォスターの竣工を皮切りに、2001年にはセルリアンタワー、そして2010年文化総合センター大和田の完成にいたる約10年間に3本の超高層ビルが建ち、街の容貌が一変しました。それまでの木造住宅の多い街並みを変え、中小型ビルやマンションの建設が急速に進み、それに伴い町はそれまで大事にして来た人と人の繋がりというコミュニティを失くしていくことになるのです。それでも桜丘町は駅近くにありながら、他エリアに較べ、緑の多い太陽の降り注ぐ落着いた丘の上の街でした。

そこに昨年11月末、桜丘口地区再開発事業が時恰も渋谷駅前共栄会設立60年と言う節目に15年の歳月をかけ竣工したのです。引き続き計画されているネクスト地区と合わせ町を一変させる状況が続いています。好むと好まざるに拘わらず街はグローバル化の波に呑み込まれています。

還暦60年の再スタートに当たり桜丘町の将来に思いを巡らすときではないでしょうか。永年培った桜丘は地政学的に見ても、開発によって得るべきものと、失うものがハッキリしており、将来に輝く桜丘を今こそ残すための知恵を出すべき時でしょう。街は刻一刻と変化し続けるもの、変化を受け入れるとするならば、将来的桜丘町はどうあるべきか議論すべき時です。

桜丘の街は住む人、働く人、学ぶ人、来街する人々等、老若男女の多様な人々に夢と希望を与えるユートピア機能と魅力を持つ新しい街を目指すべきでしょう。

渋谷駅前共栄会がその機能の一旦を担うべきである事は多言を要さないでしょう。

新しく輝く未来を切り開く渋谷駅前共栄会に大いに期待いたします。

次世代に誇れるまちづくり



株式会社東急不動産取締役 常務執行役員

榎戸 明子

60th anniversary greetings

この度は、渋谷駅前共栄会設立60周年を心よりお祝い申し上げます。桜丘地区の発展と地域活性化における渋谷駅前共栄会の様々な取り組みに深い敬意と感謝の意をお伝えいたします。

また、日頃は、弊社及び弊社グループ各社の業務にご理解ご協力賜りこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。

渋谷の街は、今、東急グループをはじめ、デベロッパー各社が参加し、100年に一度の再開発で大きな変貌を遂げようとしています。その中で弊社は、「人と、はじめよう。」をテーマに、渋谷に生きる「人」たちと一緒に渋谷のまちづくりを進めることを目指しております。特に桜丘地区においては渋谷駅前共栄会をはじめとした地域の皆様方が作り上げた文化・歴史を大切にしながら、皆様方と一緒にまちづくりを進め、私達の次の世代が、憩い、集い、安心して暮らせる地域になることを目指してまいります。

弊社が参画させていただいている渋谷サクラステージも、昨年11月竣工を迎え、本年7月にはまちびらきイベントを開催予定です。これもひとえに渋谷駅前共栄会をはじめとした地域の皆様方の長きにわたるご支援のお陰でございます。関係者を代表して御礼申し上げます。開業後の渋谷サクラステージに、地元の、日本全国の、そして世界中の、たくさんの人々に訪れて頂き、桜丘地区がより魅力ある地域になるよう、尽力する所存です。

最後に、渋谷駅前共栄会の更なるご発展と、桜丘地区の一層の活性化を祈念致します。引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。

SHIBUYAの文化を世界へ発信し続ける
GLOBAL HOTELとして



東急ホテルズ＆リゾート株式会社 常務執行役員
セルリアンタワー東急ホテル 総支配人

武井 隆

60th anniversary greetings

渋谷駅前共栄会発足60周年、誠におめでとうございます。

開業より多くの桜丘の皆様にご愛顧いただき、またその事業活動に深い
ご理解と多大なるご協力をいただいておりますこと、あらためて感謝を
申し上げます。

私共セルリアンタワーの事業は、東急電鉄の本社屋跡地の開発として
ここ桜丘の開発の先駆けでありましたが、以降様々な開発が続くこととなり、「Shibuya Sakura Stage」の竣工によりいよいよ新しい街へと生まれ
変わろうとしております。ホテルではこの間、リーマンショック、東日本大震災、新型コロナウイルスなど経営の根幹を揺るがすような大きな事象が
ございましたが、渋谷駅前共栄会をはじめとする地域の皆様の大きな支えもあり2001年の開業より24年目を迎えることが出来ております。ホ
テル開業20周年記念事業では、ここ桜丘の地名を冠した日本料理
「Japanese Cuisine 桜丘」を開業し、コロナ禍を乗り越えつつ、現在では
日々大きな賑わいを見せております。

現在、渋谷はインバウンド訪問率首位に躍進を遂げる国際観光文化都
市となり、当ホテルも欧米からアジアまで幅広く諸外国の皆様にご利用
いただくななどコロナ禍より急激な回復を遂げ開業来の高稼働・高収益に
転じております。ここ渋谷桜丘は「さくらまつり」をはじめとした古き良き日
本文化と先進性が共存する他に類を見ない街であります。セルリアン
タワー東急ホテルでは、「泊・食・集」という従来からのホテル機能のイノ
ベーションに挑み、地域の皆様とともに「新しいまちづくり」を共創・発信
し続けるHOTELとして、「SHIBUYA」への訪問価値向上に貢献してま
いります。



桜丘と渋谷駅前共栄会の歩み

戦後からの復興

渋谷に大地下商店街が誕生

渋谷の桜丘地域は、その昔、「海江田山」と呼ばっていました。明治維新に薩摩軍の海江田隊長が、桜の木を植えて住宅地として開発したこと、この地名「桜丘町」が誕生したといわれています。

時が過ぎ、人が変わり、桜丘周辺の様相も急速に変化している今日。地域の発展を遂げるために突き進んだ多くの人たちの、努力と忍耐の積み重ねをたどります。

昭和20年(1945年)8月15日の終戦、戦乱のあとに残されたのは一面の焼け野原と、荒廃した人の心でした。今日一日を生き延びることに、人々は腐心し、世情の不穏を招いていました。桜丘のある「渋谷」も例外ではありませんでした。

そんな中、昭和24年(1949年)頃になると、人々も落ち着きを取り戻し、それに呼応して、渋谷駅前のロータリーの地下に新しい商店街を建設し、協同的な発展を図ろうという声が持ち上がりました。

しかしその後、数多くの困難に遭遇し、何度もくじけそうになりながら、数年間の血のにじむような努力を続け、昭和32年11月、日本最初の大地下商店街が誕生。「渋谷」の新たな歴史の幕明けとなりました。

昭和38年(1963年)～

渋谷駅前共栄会の創立から黎明へ

日本最初の大地下商店街の誕生とともに、「渋谷」地域の整備・発展が進んでいきます。そんな中、桜丘地区に渋谷駅前共栄会の創設の機運があちこちから湧いてきます。

戦後、自由主義→個人主義→自分に関係のないことには干渉しないという風潮が浸透していく一方、国や地方自治体は、あらゆる伝達文書を町会、商店会を経由するような状況を要請し、区内ではそれぞれの組織を編成せざるを得なくなりました。

特に、防犯、防火、清掃などに関する所官庁の対策は、町会単位、あるいは商店単位で行うことを要請されるため、地域単位の組織づくりが急務となり、昭和38年に「渋谷駅前共栄会」という名を冠して、桜丘地区に「集合体」が誕生しました。

そして時は、日本経済の成長期。翌年に東京オリンピック開催を控え、人口の都市への集中、交通量の増大にともない、副都心の一つである渋谷においても、多くの課題が見えてきました。

渋谷駅の東西両広場をいかに効率よく利用して再開発するか、駅舎の立体的整備をどうするか、国鉄貨物駅跡をどのように再利用するかなど、問題は山積みで、昭和42



渋谷駅

明治42年当時の渋谷駅。明治18年、品川鉄道(明治36年から山手線と小少)の開通と同時に開業した。当初の駅は現在位置より約300m南にあったが、大正6年、今の場所に移った。蒸気機関車の近くに、河川をつる木柱が見える。電化直前の写真であろう。大正年代の末ごろの省線電車渋谷駅前。停車しているのは市電。右手の前方に、玉川電車の本社の建物が見える。



桜丘、旧大和田町(昭和26年)



大和田小学校より(昭和52年)



桜丘通り



南口交差点の国道246号線と
首都高速3号線

年にはさまざまの問題点を検討する「渋谷再開発協会」が設立され、共栄会としても駅付近整備基本構想をつくり上げました。

昭和51年(1976年)～ 再開発の問題点と向き合う

さまざまな問題点が露呈していた駅周辺再開発ではありましたが、目的は駅前広場を整備して、寛ぎのある緑と青空のある広場にすること。広場とその周辺の構造物を有機的に活用して、渋谷が副都心としての機能を最大限に果たせるように変貌できること、それが究極の方向性でした。

渋谷をよりよく、そして桜丘を渋谷の孤島から再開発の一環地区として参加できるように、積極的な発言を繰り返し、問題・課題に対して精力的に取り組んでいきます。でき上がった基本構想案は、共栄会の理想案を貫き通せなかったところもいくつかありました。桜丘地区に不利益になる点は見当たりませんでした。

地上面は広場とバスターミナルに利用され、人と車の隔離を完全にして、駅前広場の渋滞を解消し、同時に国道246号と道玄坂方面への交通混雑にも寄与できるものとなりました。

昭和61年(1986年)～ 地元の小学校の創立80周年を祝いつつ

1980年代になると、時の経過とともに、桜丘の街の様相も変化しています。地価の高騰が激しさを増し、桜丘周辺にはマンションが建ち並び、その結果、児童数が年々減り、長い歴史を持つ大和田小学校の廃校の論議が持ち上がりかけてきました。

共栄会としては住民の廃校反対運動の中、「渋谷区の文化センターになるのであれば、協力しましょう」と意見がまとまり、施設の名前も一緒に考えることができました。その結果、「渋谷区文化総合センター大和田」と愛着のある名前がつき、センター内には小学校の資料室もつくれられ、戦前からの通信簿などの多くの資料が保管されました。

桜丘に住む多くの人たちの大好きな場所であった「大和田小学校」は、平成10年3月末日で統廃合されました。心のふるさとして、よい形で現存しています。

平成元年(1989年)～ 街が変わり、新しい風を受け入れる

昭和から平成に元号が変わる中、桜丘の街も様変わりが急速です。長年住んでいた

方々が町外へ流出し、空き地が目立ってきたと思えば、ビルの建築が始まり、ビルができれば専門学校やいろいろな会社が入居し、昼間の人口は増加するのとは反対に、夜の住人はぐっと減少傾向になっていき、かつては静かな住宅街がビジネスの街へと変貌していきました。

共栄会にとって、好むと好まざるとにかかわらず、その変化に合わせた街づくりが喫緊の課題となっていました。

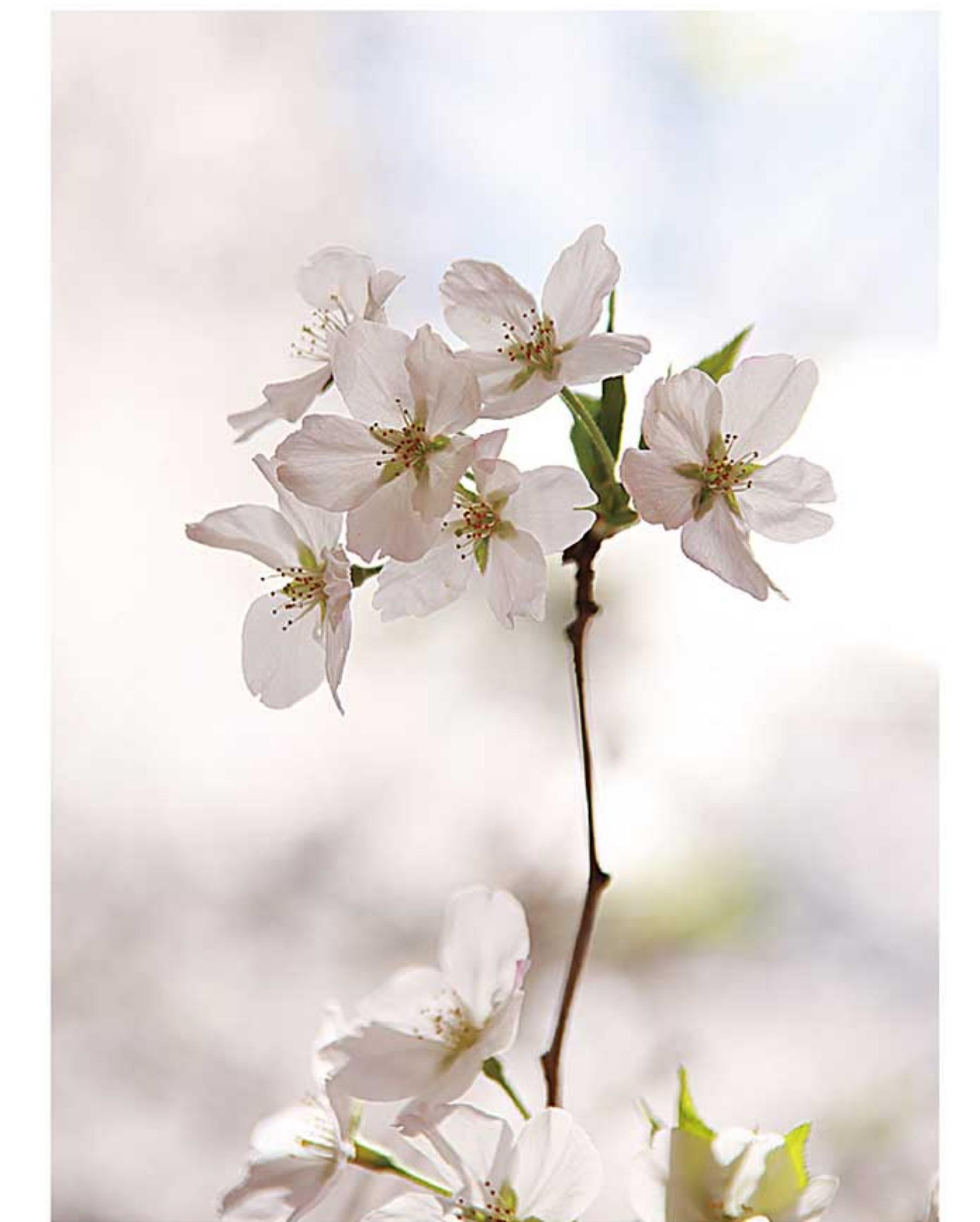
長年住んでいる者たちと、新しく桜丘の町の住人になった者たちと共に存するために、新しい住人の協力は必須です。桜丘に新しい風を吹き込んでいただきながら、時代は確実に移っていました。古きよき時代の桜丘と、新しい風がさわやかに吹く桜丘の「融合の時」がやってきたのです。

そして1991年、新しい桜の木を植樹し、現在の桜並木へと続いていきます。

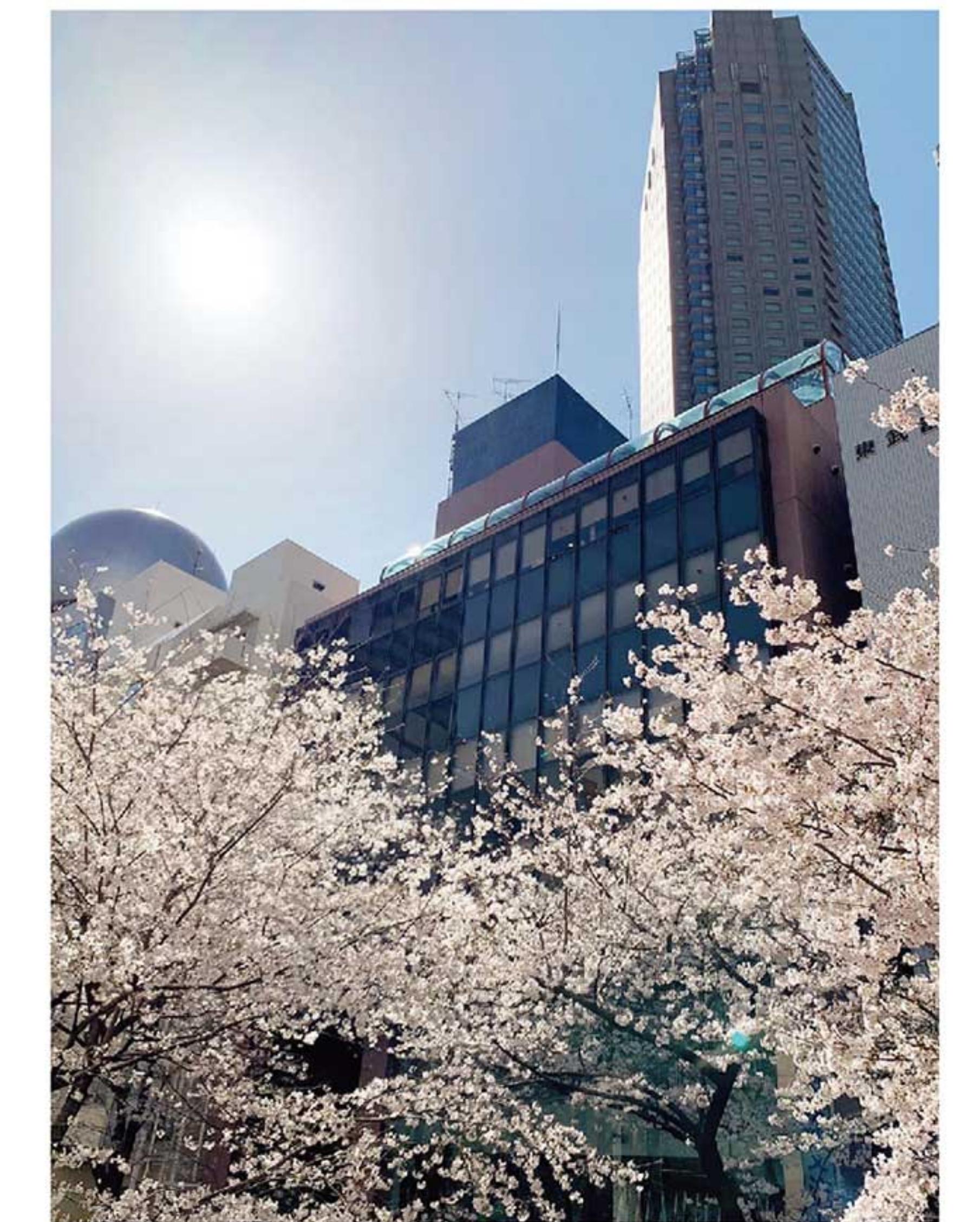
平成9年(1997年)～ 桜丘に「渋谷インフォスター」が完成

渋谷駅南西の高台に、地上110メートル、駅周辺では1、2を競う高層ビル「渋谷インフォスター」が完成しました。

大きなビルの完成にともない、自然の成り



満開の桜並木のさくら坂



満開の桜並木のさくら坂

行きとして行き交う人が激増し、桜丘地区への要望、解決を迫られる課題も多くなっていましたが、一つひとつ地道に解決していく、それが最良の方法です。

そんな中、再開発を進める渋谷は、東京都の主要な副都心として、文化・産業・交通等の目に見える要都であるだけでなく、次世代の技術産業、情報・音響産業の発信基地としての発展が望まれ、渋谷区長は、平成14年10月1日に「国際都市渋谷」を宣言しました。

桜丘は、将来を期待される渋谷の重要な一地区として、守るべきものは守りながら、積極に貢献する姿勢を示しました。

平成22年(2010年)～ 歩行者優先のために桜並木を一車線化

IT関連のベンチャー企業が入居する「セルリアンタワー」や「渋谷インフォスター」が建ち並び、アメリカのシリコンバレーになぞらえられることもある桜丘。そんな街・桜丘には多くの坂道があります。セルリアンタワー裏の「蛇崩通り」、桜並木で有名な「さくら坂」、代官山へと続く中央通りなどです。セルリアンタワー裏に走る「蛇崩通り」は「問坂」とも呼ばれていて、湾曲しているのが特徴的です。桜丘の最も象徴的な坂道が「さ

くら坂」で、一直線に上る坂道の両側には、1991年に植樹された桜並木が続きます。2010年には、歩行者優先のために一車線化され、桜の木が歩道の中に点在する、大都市にあって豊かな自然を満喫しながら歩ける、素晴らしい坂道になっています。

大都会の中にあって、鳥がさえずり、ミツバチが桜丘の名産「渋谷ハチミツ」の蜜のために一生懸命活動している、自然あふれる街——。都市と自然が醸し出す不思議な空間のマッチング、それが桜丘です。

平成28年(2016年)～ 「みんながつながるラジオ」放送開始

「ダイバシティ、シブヤシティ」をスローガンに、2016年4月から「渋谷のラジオ」が開局し、桜丘を含めた渋谷のさまざまな情報発信を始めました。

「聴くラジオから、出るラジオへ」をコンセプトに、出演者とリスナーがフラットにつながる番組づくりを心がけ、ローカル局ならではの“顔の見える放送局”として、ユニークな運営が実現されています。

開局以来築いてきたコミュニティや、人と人とのつながりをベースにしながら、さらなる情報源の充実、迅速な発信を目指していて、情報収集力、発信力をパワーアップして、

とくに災害時には「頼れる存在」になること、そして「もっともっと地域に根ざした放送局」になることが目標です。

渋谷駅前共栄会として、この「渋谷のみんながつながるラジオ」を応援し、コミュニティラジオの可能性に大いに期待したいと考えています。

令和5年(2023年)～ 「渋谷サクラステージ」完成、 さらなる再開発へ

2023年末に「渋谷サクラステージ」が完成し、この先に向けて、広域渋谷圏が他に類を見ない魅力的な都市へと変貌し続けています。

これまでの再開発で、渋谷駅と渋谷サクラステージは歩道デッキで結ばれ、駅から坂の上に出やすくなり、代官山方面へも行きやすくなっています。さらに、さくら坂方面へのアクセスが飛躍的によくなり、わかりやすくなりました。

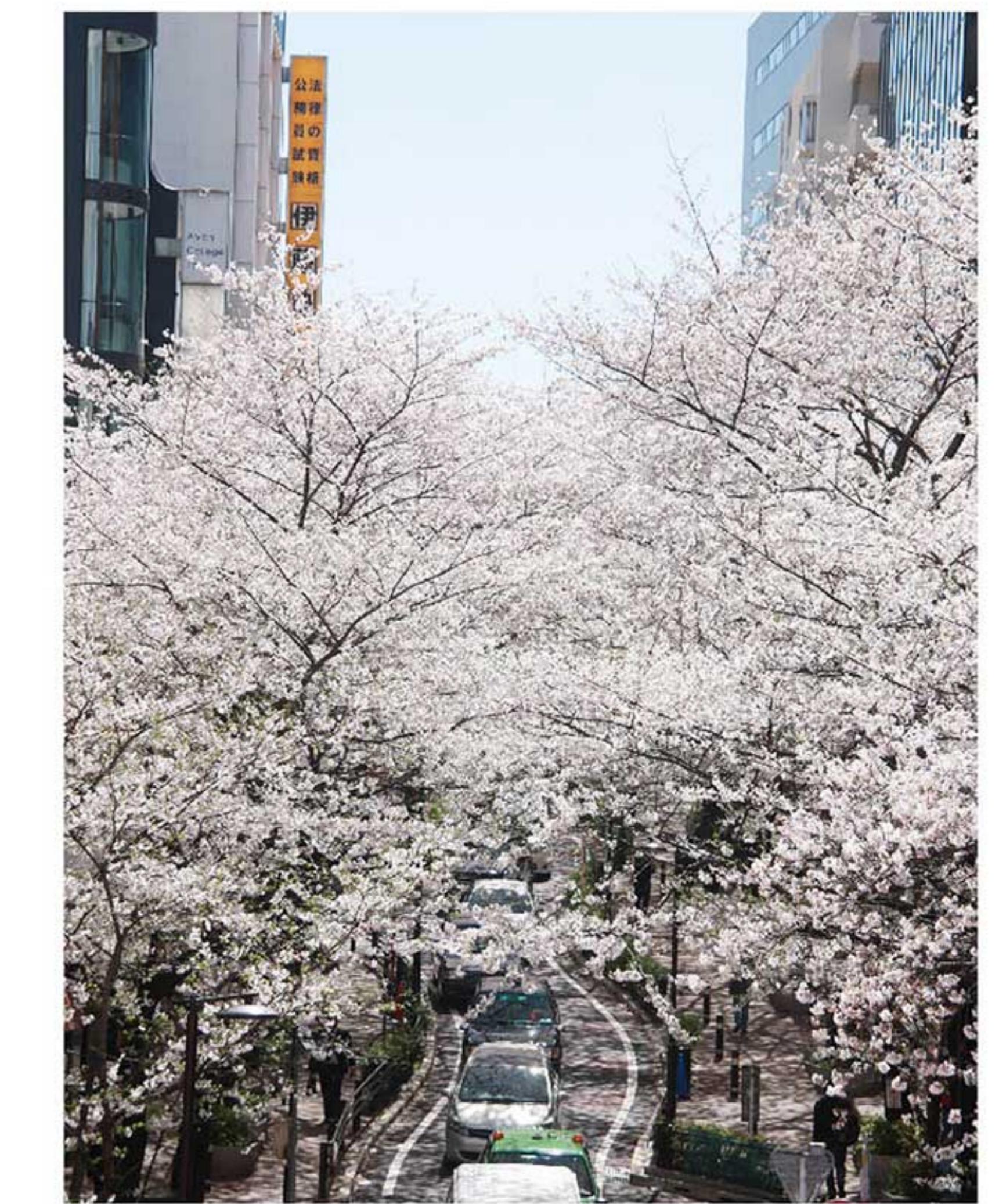
渋谷ストリーム側から、線路をまたいで桜丘へ上っていく道は、人を呼ぶ小径、渋谷の新名所になるのではと期待がかかっています。桜丘の道をみんなが楽しそうに街歩きする、さり気なくうろうろする——、そんな新しい流れ、これまでとは違う人の動き

が桜丘に生まれそうな気配です。

街が開発され、新しい風があらわる方向から吹き込まれる中、共栄会の伝統イベントである春の「渋谷桜丘桜まつり」と冬の「さくら坂イルミネーション」は、守り続けていかなければなりません。イベントを通して人が集い、語らい、思い合う、そんなみんなの桜丘、渋谷駅前共栄会は、50年先、100年先を見据えて進んでいきます。

■歴代会長

昭和38年～ 山田茂夫
昭和51年～ 海道万夫
平成10年～ 加藤増男
平成13年～ 増子昭
平成24年～ 青山強志



満開の桜並木のさくら坂

桜まつり

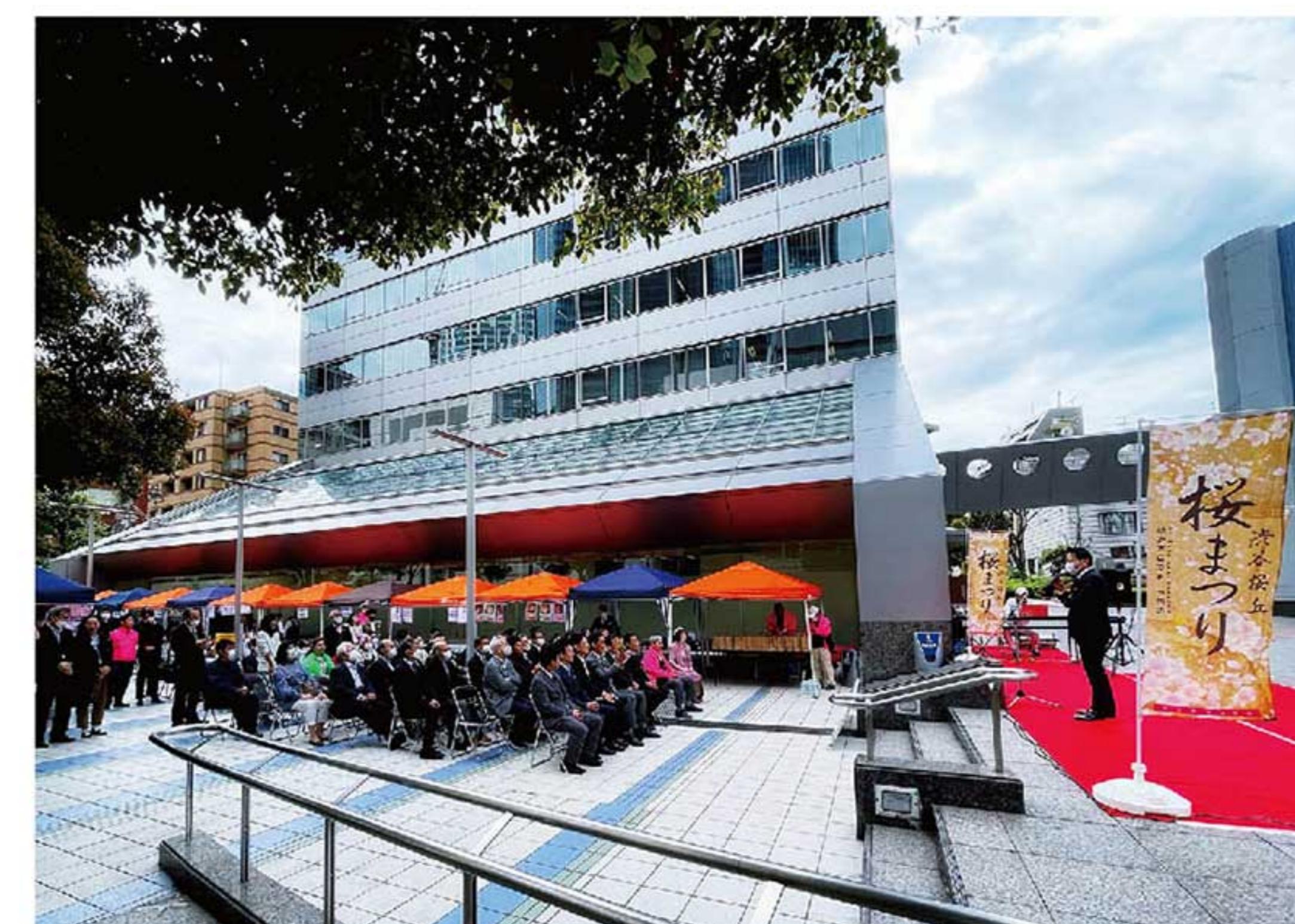
渋谷桜丘のさくら坂の桜並木。その木々は1991年に植えられ、翌年から『桜まつり』を開催し、2023年春には31回目を迎えることができました。これも、地元の皆様のご協力があってのことと感謝しています。

2006年には『渋谷さくらフェスタ』として、1万3千人の方々が集まり、熱気に包まれた開催となりました。地元の猿楽小学校鼓笛隊演奏で開会式が始まり、オリジナルカクテル「桜の園」の発表があり、屋外テントの模擬店などには多くの人の列ができ、たくさんの笑顔が会場のあちこちで見られました。

近年は、渋谷インフォスター前広場をメイン会場にし、時にはさくら坂を利用させていただきたりして、地元の参加者によるダンスや音楽などのパフォーマンスをはじめ、模擬店での物品や飲食の販売などを催して、地元と渋谷に集う人々との有益な交流の場としました。

コロナ禍では、イベントの開催を中止せざるを得ませんでしたが、その代わりに桜の花のライトアップや約250張の段飾り提灯、幟旗で桜丘を盛り上げてきました。

2023年3月、3年ぶりにイベントを開催しました。そして、2024年3月は『渋谷サクラステージ』がオープンして迎える新生『桜まつり』。新しく完成した『はぐくみ STAGE』を含め、地元の方々と広域的に協力して開催したいと思っています。



2023年3月、3年ぶりに再開した『桜まつり』のイベント



2006年には『渋谷さくらフェスタ』として開催。規模も大きく1万3千人が来場



コロナ禍前の2010年代後半の『桜まつり』。
模擬店、抽選会、ライブやショーなど、イベント・メニューが盛りだくさん

桜まつり

提灯・幟・ライトアップ

『桜まつり』では、開催時期に合わせて、地元の企業や学校、飲食店などから協力をいただいて、提灯を点灯。また、さくら坂周辺には幟を設置して、満開の桜を迎えていました。2017年には、日本デザイナー学院の学生によって幟のデザインコンテストが行われ、これまでにはなかったポップで可愛らしい作品の数々が、さくら坂周辺を飾りました。

近年は、ライトアップで桜の花に趣向を凝らし、桜丘の街を盛り上げています。SNSの影響もあって、地方はもちろん海外からも写真を撮りに訪れる方が増えていて、桜丘にさらなる賑わいをもたらしています。

今では、『桜まつり』に欠かすことのできないイチオシの撮影スポットです。



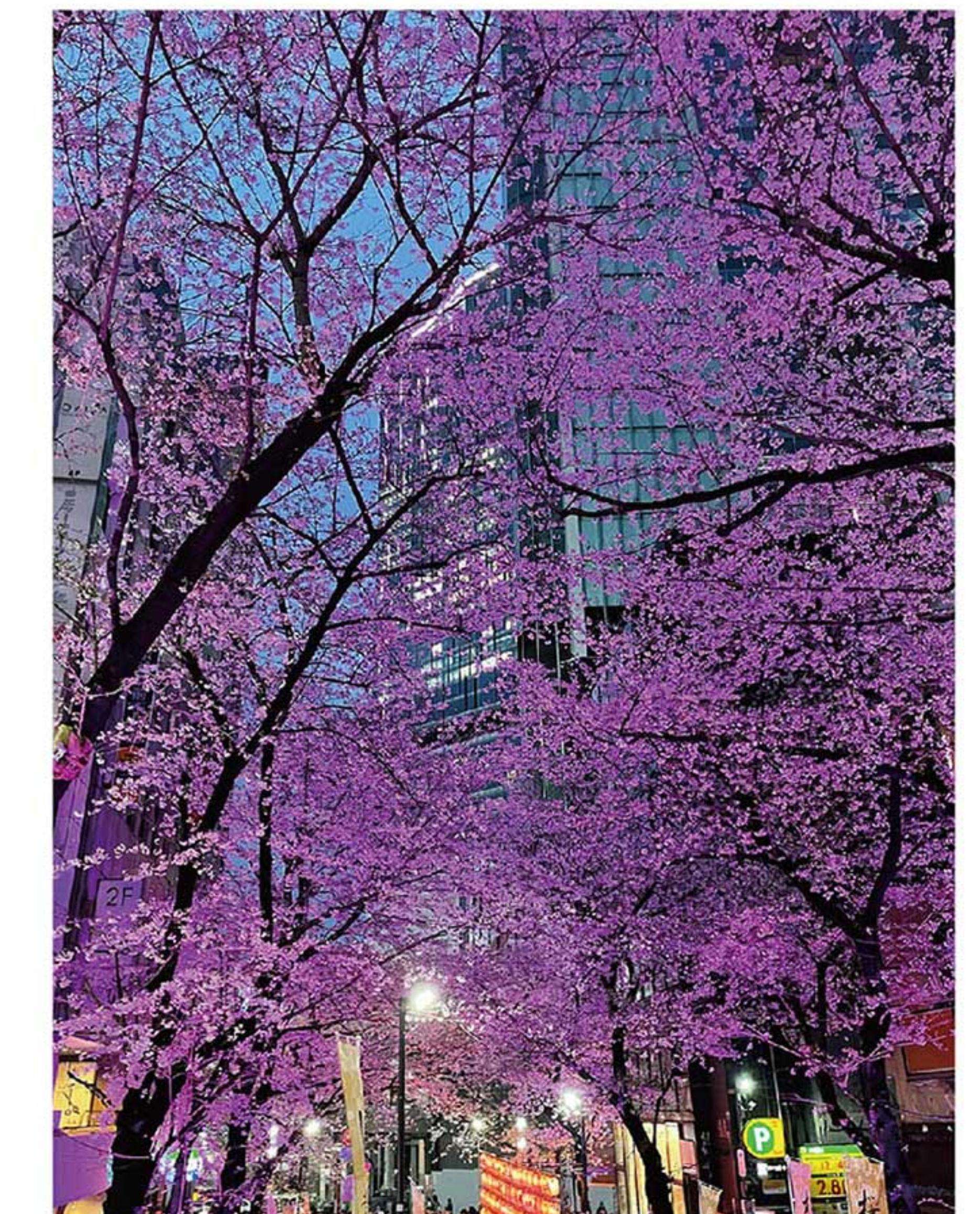
日本デザイナー学院の学生がデザインした斬新な「幟」



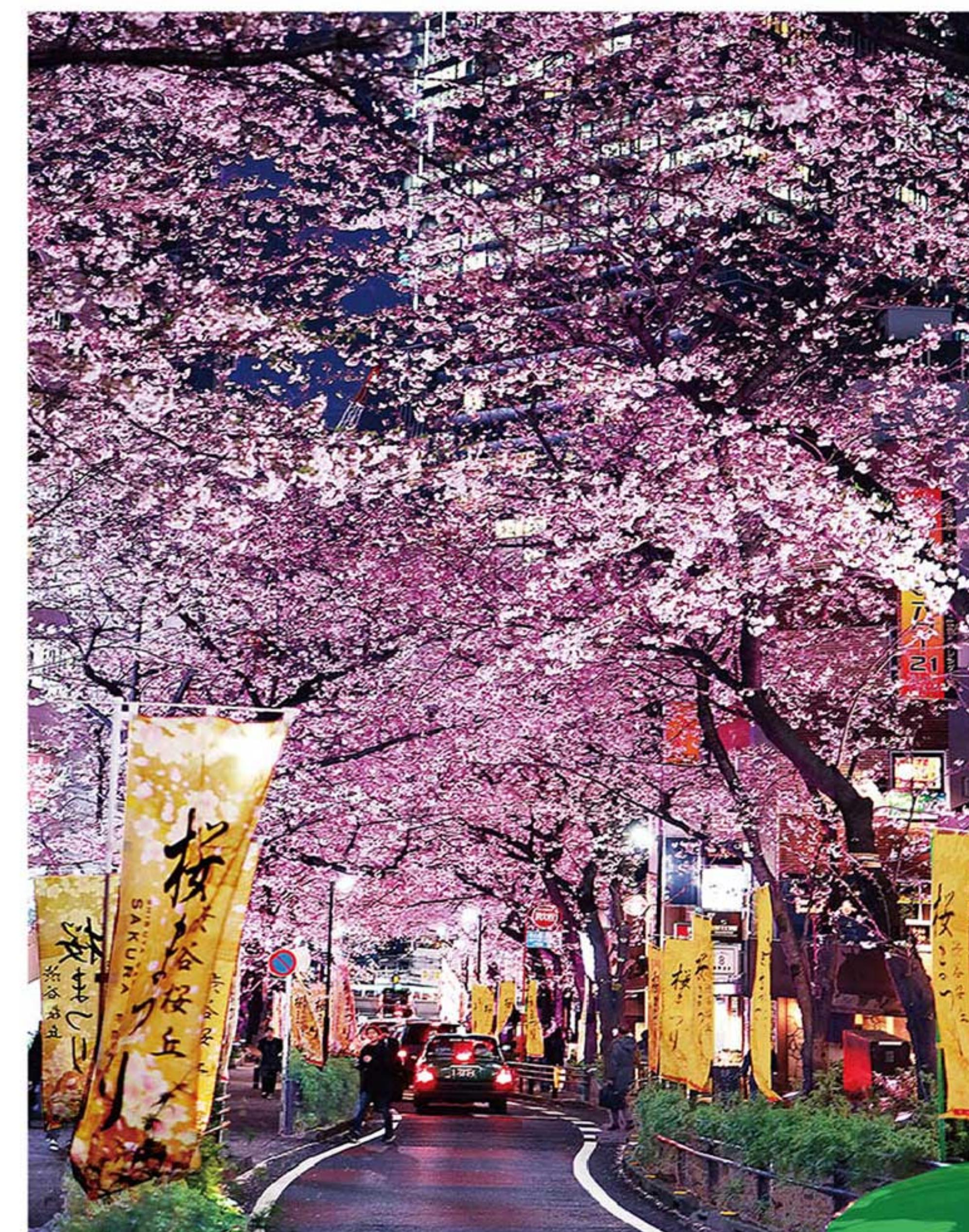
さくら坂に設置された提灯。夜には光が灯り、絶好の撮影スポットに



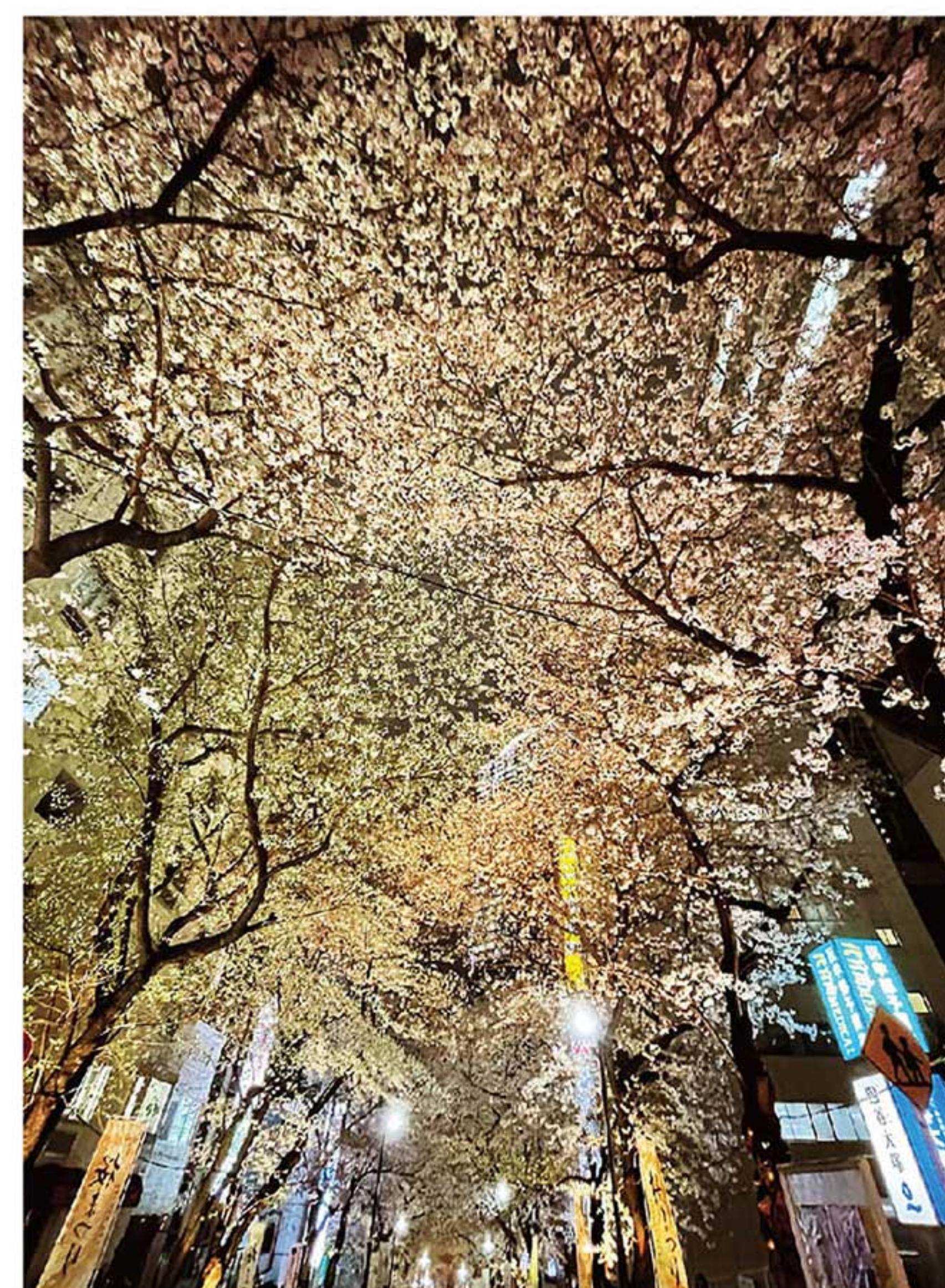
満開の桜に多くの人が賑わうさくら坂



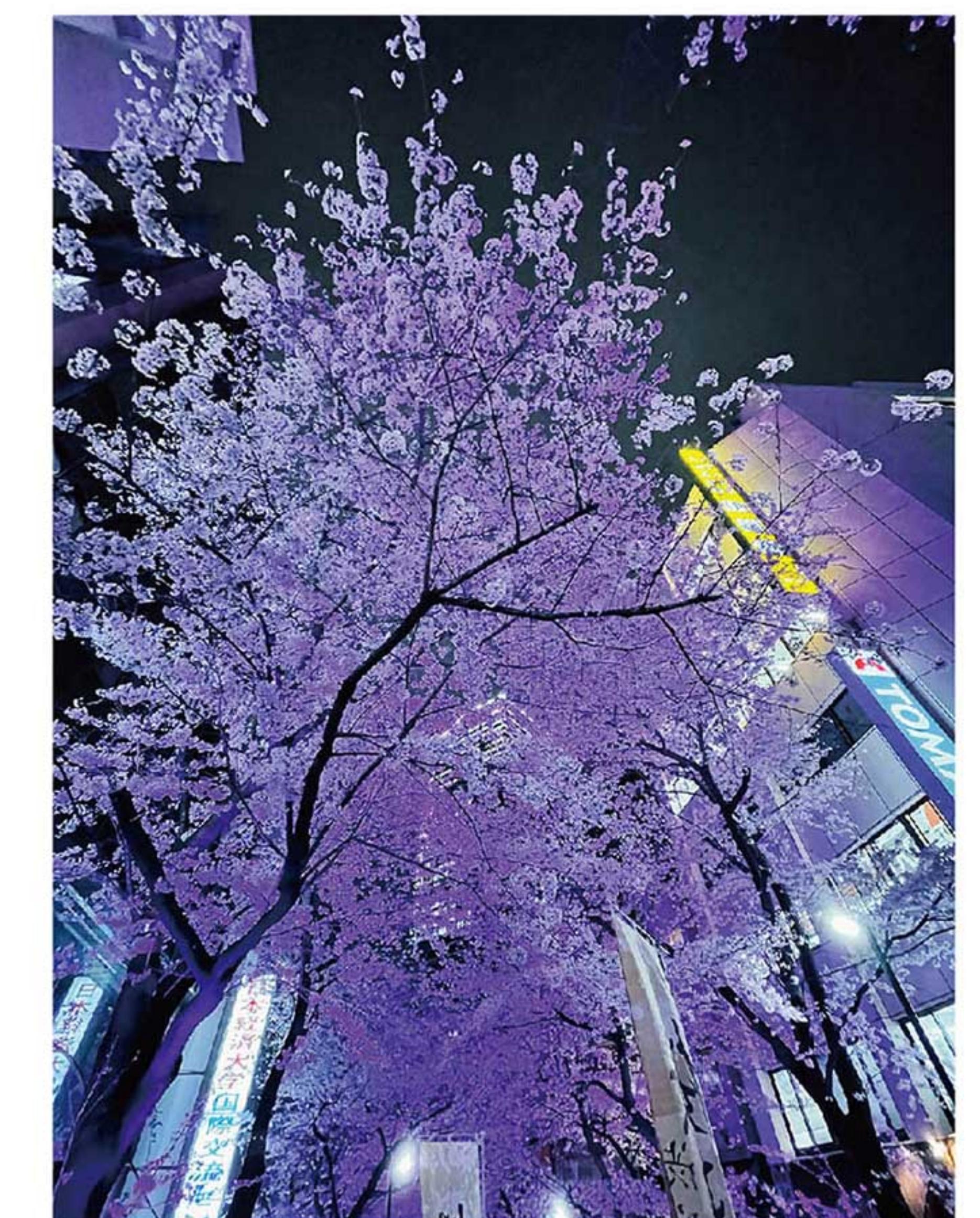
色が変化する桜の花ライトアップ(2022年)



さくら坂の幟と桜の花のライトアップ



色が変化する桜の花ライトアップ(2022年)



色が変化する桜の花ライトアップ(2022年)

さくら坂イルミネーション

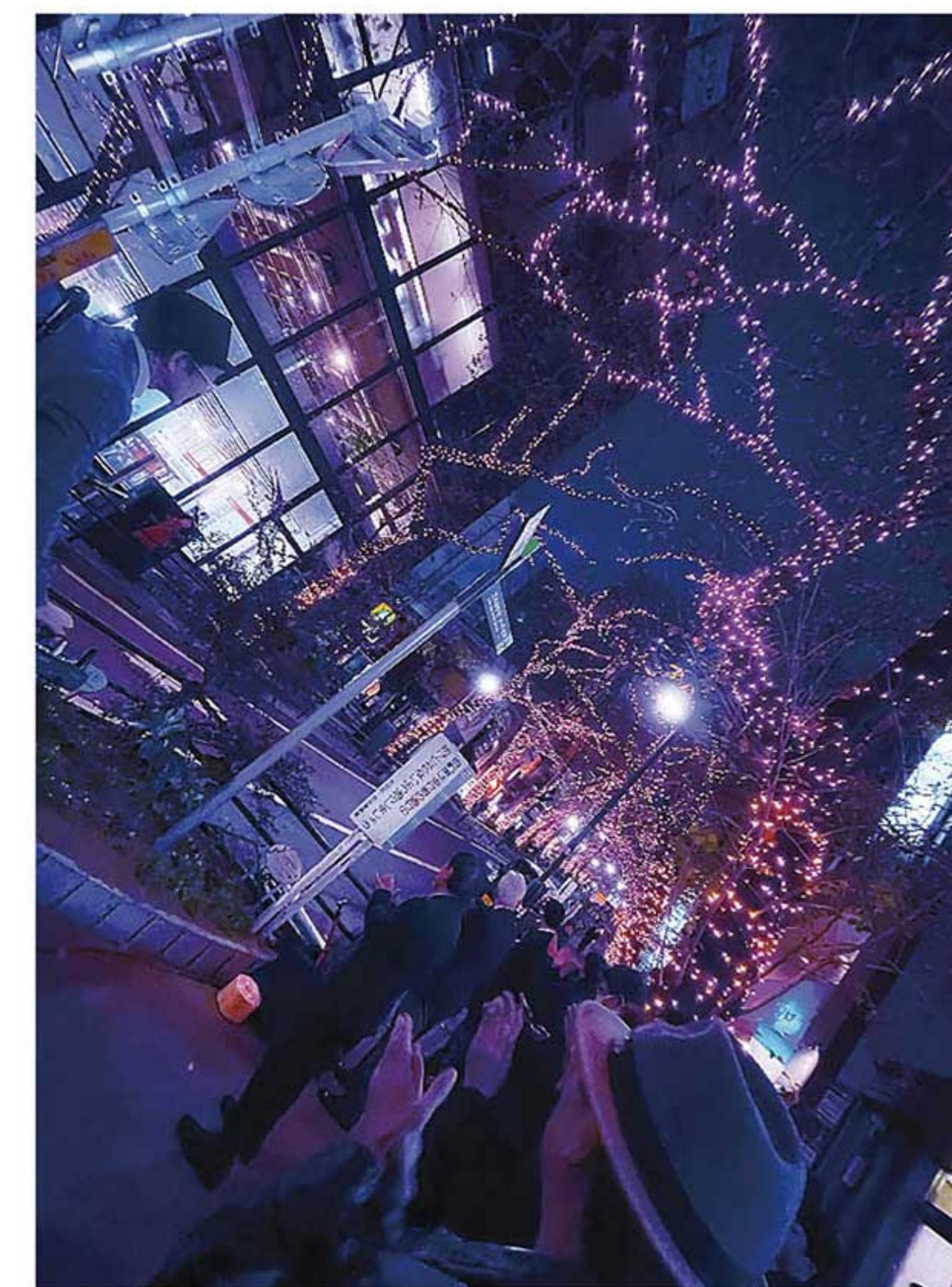
2019年から開催しているのが『さくら坂イルミネーション』。さくら坂をピンクのイルミネーションで彩り、桜丘に集う方々に冬の桜を満喫していただきました。その年の12月20日、21日の両日には「クリスマスコンサート」を開催し、ピンクに輝くさくらの木の下でのフォトスポット撮影会も企画して、集まった多くの方に写真撮影を楽しんでいただきました。ライブ会場では、クリスマスにちなんだ曲などが演奏されイベントは大いに盛り上がりました。

2020年には、ピンク一色のイルミネーションにゴールドを加え、より鮮やかにバージョンアップしました。コロナ禍だったためコンサートは見送り、桜丘に縁のあるアーティストによって、さくら坂のイルミネーションをバックに制作した動画が配信されました。動画のアクセス数は1万回を超え、好評をいただきました。

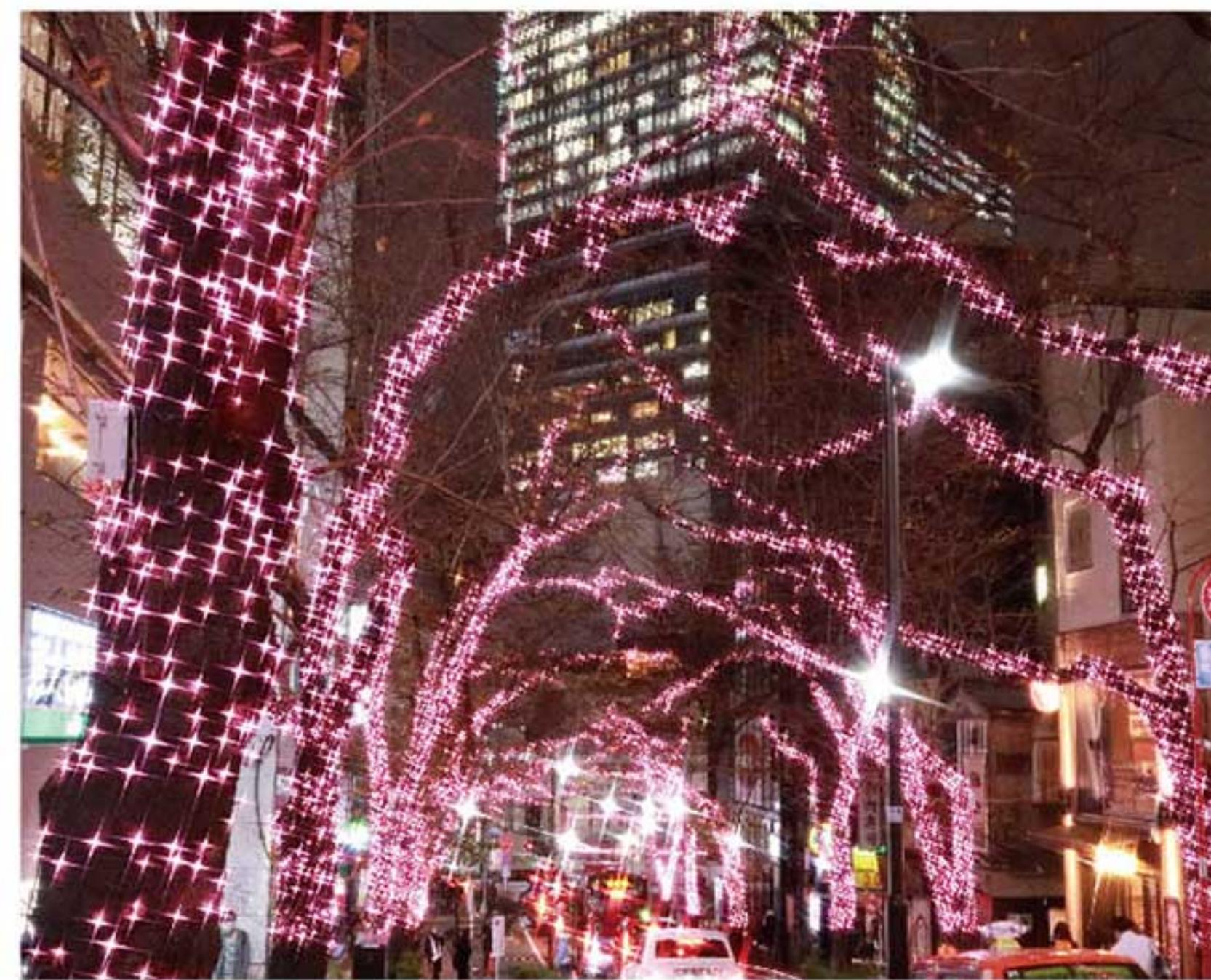
2021年からは『さくら坂イルミネーション』を撮影した写真コンテストを開催。多くの方からバリエーション豊かな作品を応募いただき、今回で3回目を迎めました。



「クリスマスコンサート」(2019年)



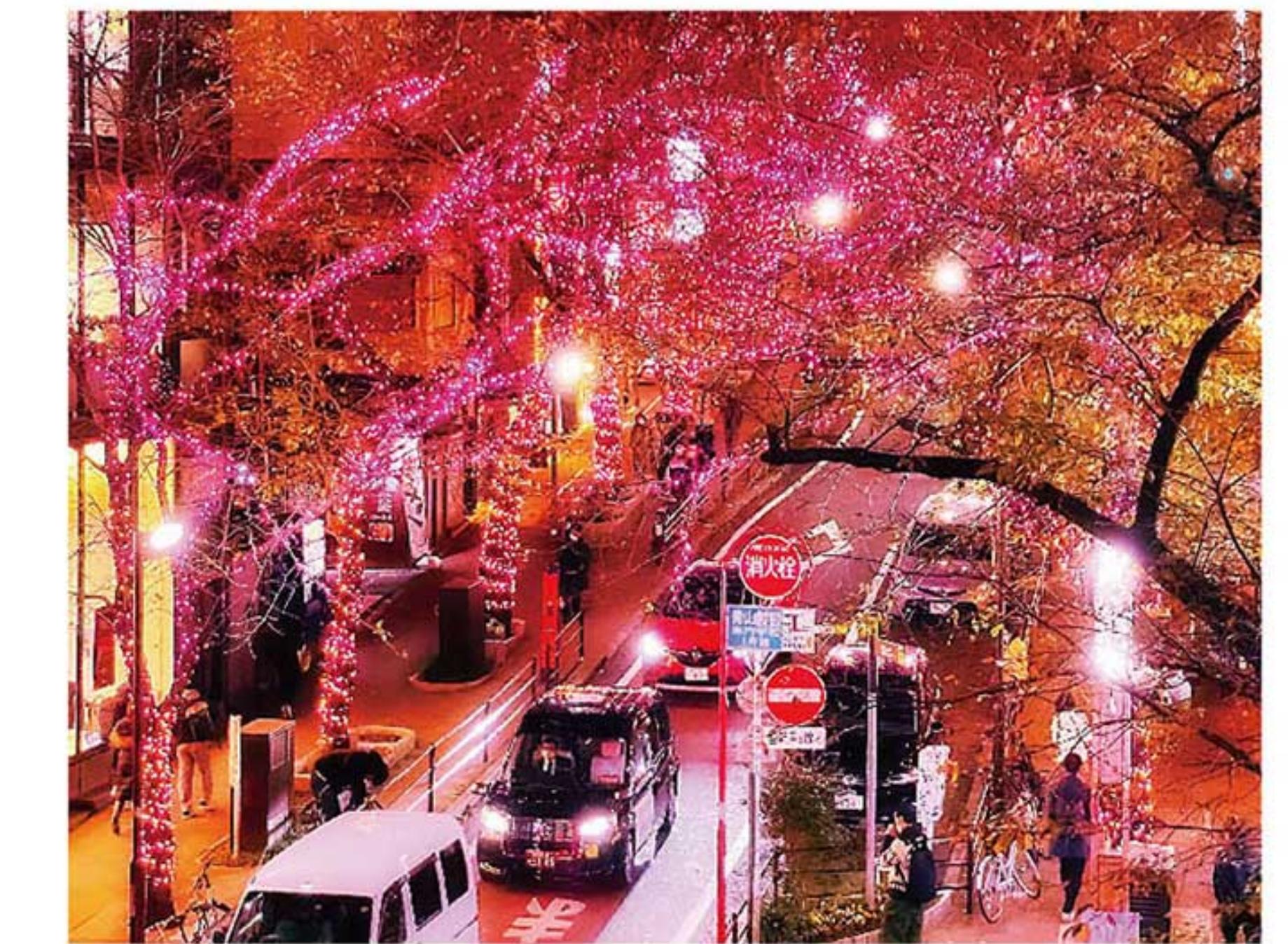
『さくら坂イルミネーション』点灯式(2023年)



『さくら坂イルミネーション』(2020年)



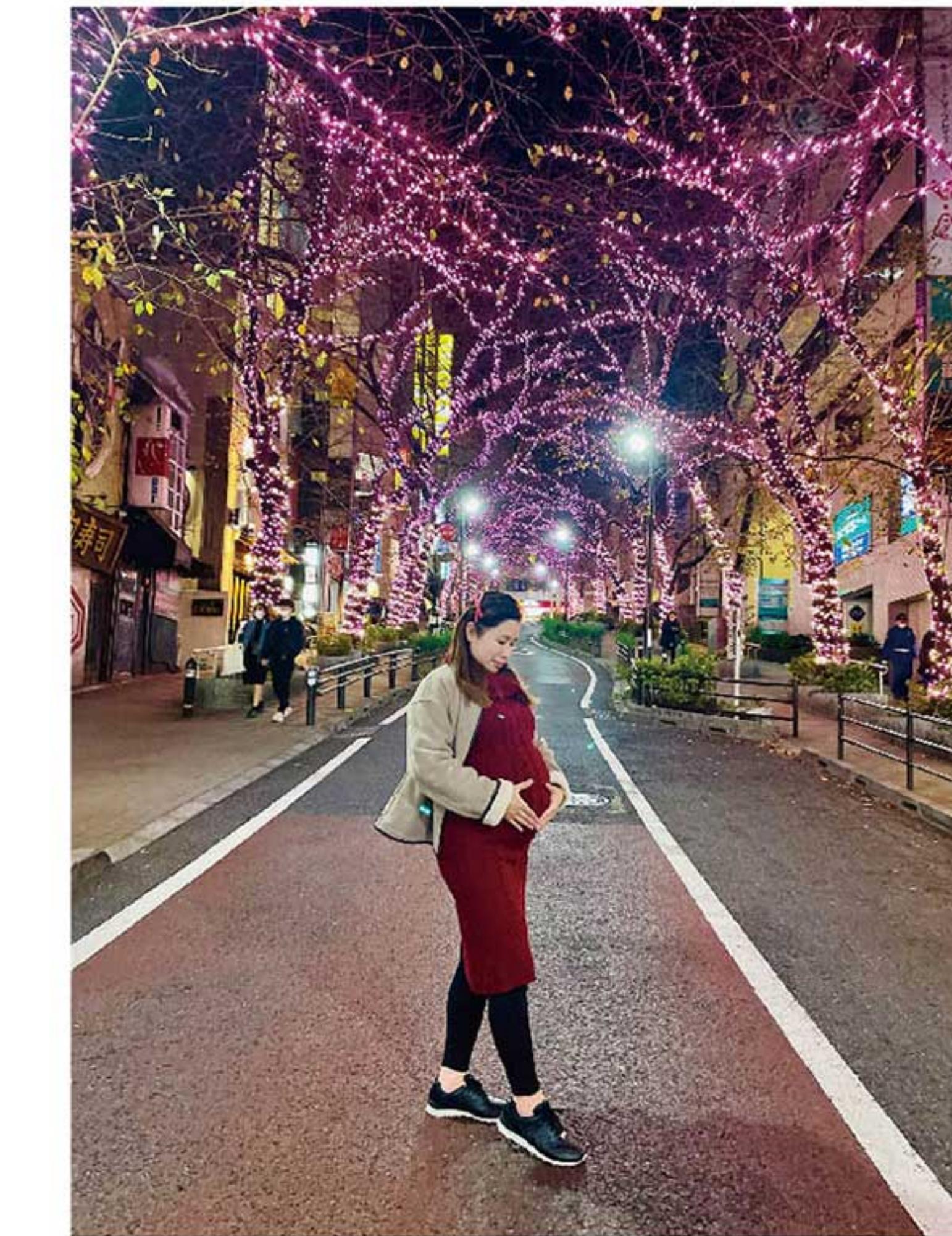
『さくら坂イルミネーション』(2020年)



『さくら坂イルミネーション』(2022年)



『さくら坂イルミネーション』(2020年)



写真コンテスト金賞作品(2021年)
あんじー『この街と共に生まれ育つ桜丘』



写真コンテスト金賞作品(2022年)
RIKU『さくら坂が繋ぐ新時代』

落書き消し・クリーンアップ

桜丘の落書き消しは、渋谷駅南口付近のガード下通路の落書きを消し、そこが新しく高架下壁面ギャラリー「渋谷アートギャラリー246」として生まれ変わったのが始まりです。

その後、2016年に第1回『落書きクリーンアップ』を催し、2017年10月の第3回では、桜丘町の玄関口の歩道橋の落書き、ステッカーの除去を行いました。16団体(39名)の協力、40名(20名が日本経済大学)のボランティアが活動してくださいました。環境美化浄化活動については、2018年に、渋谷区の「きれいなまち渋谷をみんなでつくる条例」に基づいて、渋谷区より記念品と感謝状をいただきました。

『落書きクリーンアップ』はコロナ禍で自粛していましたが、2023年に7回、8回、9回と続けて行い、10月の10回目は地域連携プログラムとして、地元の学生を中心に、総勢300名のボランティアの皆様に参加していただきて行いました。「みんなの街はみんなで綺麗に!!」を合言葉に、落書き消し、ごみ拾い、貼り紙シールの除去、育樹と植栽活動を継続しています。



「渋谷アートギャラリー246」オープニング



落書きを消して綺麗になった壁面

第10回 渋谷桜丘クリーンアップ



落書きクリーンアップ
イメージキャラクター
桜丘咲(さくらがおか さき)



2018年2月「落書きクリーンアップ大作戦」
渋谷区から感謝状を授与



高圧洗浄で清掃



落書き消し



貼紙剥がし



ゴミ拾い



高速道路壁面の落書きを消去



育樹活動



貼紙剥がし



落書き消し



植栽活動



写真協力：日本写真芸術専門学校



「第10回 渋谷桜丘クリーンアップ」の模様

植栽ボランティア

植栽ボランティアは、NPO法人「渋谷さくら育樹の会」と協力して、桜丘を訪れる皆様の目を楽しませながら、街の一体感を演出していきたいという思いで行っています。

写真は、2016年9月と10月に行った植栽ボランティアの模様です。秋にはコスモス、レッドクリフ、ビオラ、パンジーなどに入れ替えて、季節ごとのメンテナンスを行っています。地元の皆様の協力を得て、桜丘の花と緑を中心とした人に優しい街づくりを目指しています。



みなさん、お疲れ様でした



あおい書店前にて



西口歩道橋下、国道246沿い



渋谷インフォスター 歩道沿いプランター



西口歩道橋下、国道246沿い

宇宙桜（ソラザクラ）

2008年4月、全国14か所の桜と共に高桑星桜の種子が宇宙へ打ち上げられることが決まりました。11月にはエンデバー号で桜と種子が宇宙へ打ち上げられ、その後、種子は岐阜県岐阜市高桑にある善覚寺へ返還されました。その種子が高桑星桜保存会の協力のもと、善覚寺から渋谷桜丘が受け継ぐことが決まり、2018年3月30日、渋谷桜丘『桜まつり』開催中に、「宇宙稚木の桜」の植樹を行いました。

植樹当初、小さかった桜の木は立派に成長し、2022年3月には見事な花が咲きました。そして、2023年11月30日に竣工した「渋谷サクラステージ はぐくみSTAGE」にて、竣工前の11月21日には、新しい桜の木を植樹しました。2024年3月22日、渋谷桜丘『桜まつり』の開催中に、お披露目会を行います。



2018年に植樹が行われました



植樹したばかりの小さな宇宙桜の木



宇宙桜の植樹の後にジョウロで水をあげる地元の子供達



宇宙桜の横に設置された看板



2022年に初めて花を咲かせた宇宙桜



新年賀詞交換会

毎年1月に行っている『渋谷駅前共栄会新年賀詞交換会』。コロナの影響でここ2年間は開催を見送っていましたが、2023年、セルリアンタワー東急ホテルB2階の朝霧宴會場にて3年ぶりに開催。会場には、いつもお世話になっている方たちや、コロナ禍で会えずに久しぶりの再会となった方たちなど、多くの方が参集してくださいました。

着席にての会食とし、これから渋谷の商店街について、意義深い意見の交換ができました。今後とも渋谷駅前共栄会ならびに渋谷の商店街を盛り上げるために、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。



渋谷桜丘マップ

年に2回発行の『渋谷桜丘マップ』。2023年の秋・冬号では、渋谷桜丘エリアの116店舗の情報を提供し、特集記事として、飲食店のおすすめメニューやスタッフ紹介を掲載しています。コラムでは、「アフタヌーンティー」「BARで過ごす渋谷桜丘の夜」「カレーで桜丘を巡ろう」など、テーマに沿ってのお店紹介をしていくので、より親しみを持って目を通していただけると思ってます。また、トピックスの「桜の人」では、店舗のオーナーなどにインタビューをして、桜丘の魅力などについて、自らの言葉で語っていただいている。

渋谷桜丘で行われるイベント情報なども掲載していますから、ぜひ手に取ってみてください。冊子は渋谷桜丘の情報掲載店舗に設置されています。



2023年春・夏号よりリニューアル



ホームページ



2016年に現在の形にリニューアルした渋谷駅前共栄会のホームページ。開催するイベントの情報や行われた活動についての報告、加盟店舗の情報などを発信しています。

また、ホームページとフェイスブックページを連動させて、渋谷桜丘の旬な情報をお届けしています。皆様に渋谷駅前共栄会を知っていただくツールとなっています。

www.shibuyakyoueikai.com



桜丘さくらニュース

コロナ禍でさまざまな行事が中止を余儀なくされました。渋谷駅前共栄会では、「渋谷駅前共栄会」を知っていただきたい、そして、市街地再開発事業が進行する中の桜丘の変化を写真やグラフなどでわかりやすく伝えていきたいという思いから、2020年11月より年2回、新聞折り込みの形で、桜丘の地元の方々に「桜丘さくらニュース」をお届けしています。本紙は、桜丘のお店「パリジャン」で配布もされています。

紙面には、渋谷駅前共栄会が主催するイベントの紹介のほか、加盟店のメンバー紹介をしています。メンバーの中には桜丘とともに歩んできている方も多く、桜丘の歴史・変遷などを知ることができます。どうぞお楽しみください。

また、連載漫画『旅猫リューキのてくとこまちある記』(作・すぎやまゆうこ)では、旬な情報や桜丘の街並の流れを豊かな表現力で描いています。

渋谷駅前共栄会・活動日記

「ふるさと渋谷フェスティバル2022」に参加

2022年11月5日(土)・6日(日)に代々木公園で開催された「ふるさと渋谷フェスティバル2022」の商店街バザーゾーンに、渋谷駅前共栄会から老舗パン屋「パリジャン」が参加いたしました。通常価格よりも3割以上値引きされて販売された、4種類のパンを<600個/日>販売。両日ともオープンから、なんと1時間半ほどで完売。たくさんの方に召し上がっていただきました。地域連帯の輪を広げる場として様々なイベントや展示、飲食の販売などが行われ、会場は渋谷に集う人々の笑顔で溢れました。



桜丘のこれから

長年続いていた市街地再開発事業のひとつ「渋谷サクラステージ」が、2023年11月30日に竣工し、新しい渋谷桜丘の歴史がスタートしました。

渋谷駅前共栄会では、新しく生まれ変わる桜丘がよりよい街になるための努力を惜しません。

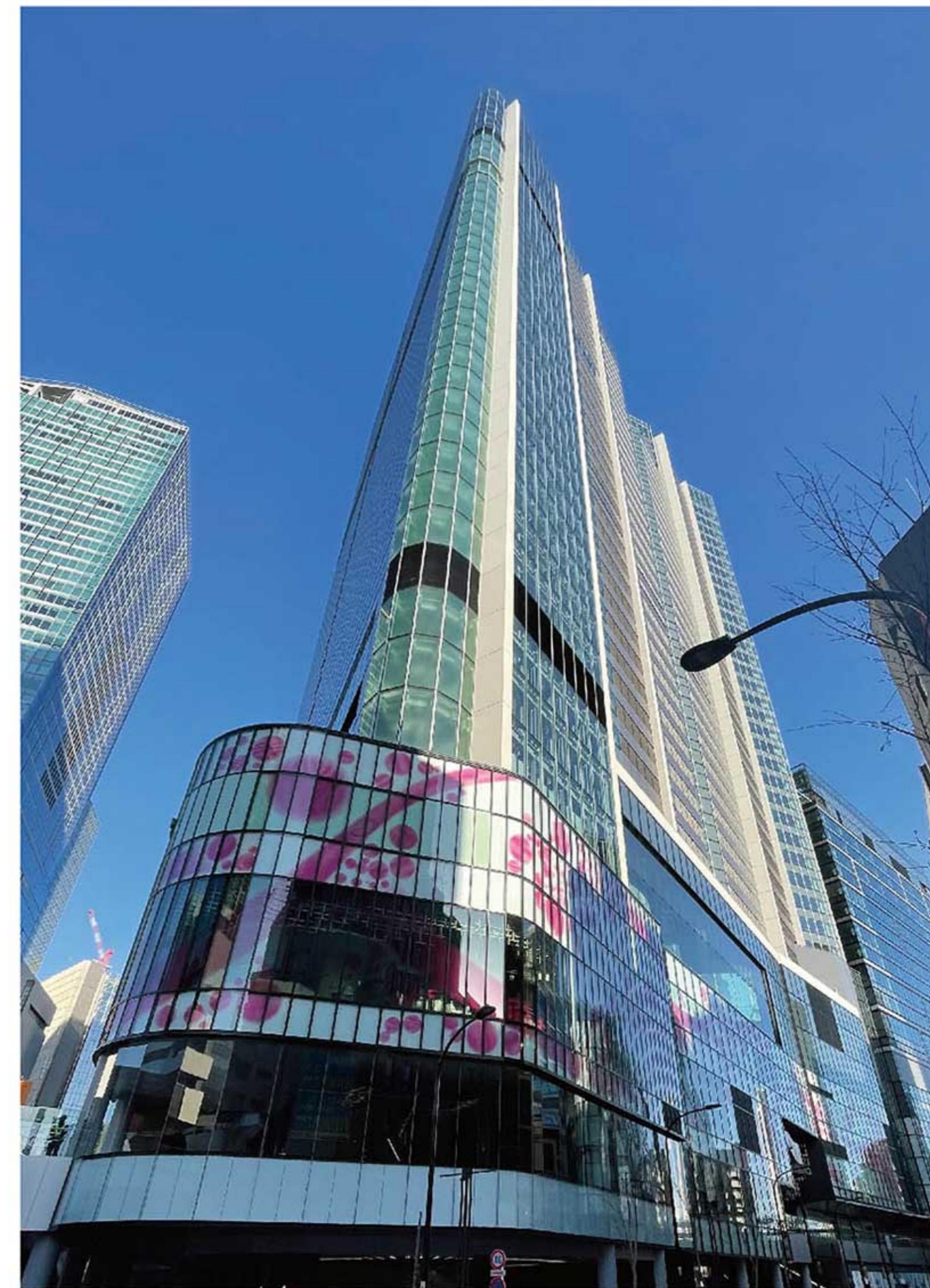
「渋谷サクラステージ」のSHIBUYAサイドとSAKURAサイドの間を走る第18号線の歩道には、渋谷駅前共栄会と渋谷桜丘町会で運営する新装飾灯を設置し、これまでと同様に桜丘の安全を見守っていきたいと思っています。「渋谷サクラステージ」内の宇宙桜が植樹された「はぐくみ STAGE」では、新しいイベントなどを地域の皆様とつくり上げたいと思っています。

また、これまでの紙媒体の発行物に加え、WEB媒体を利用した新しい渋谷駅前共栄会の形も、現在、検討しています。

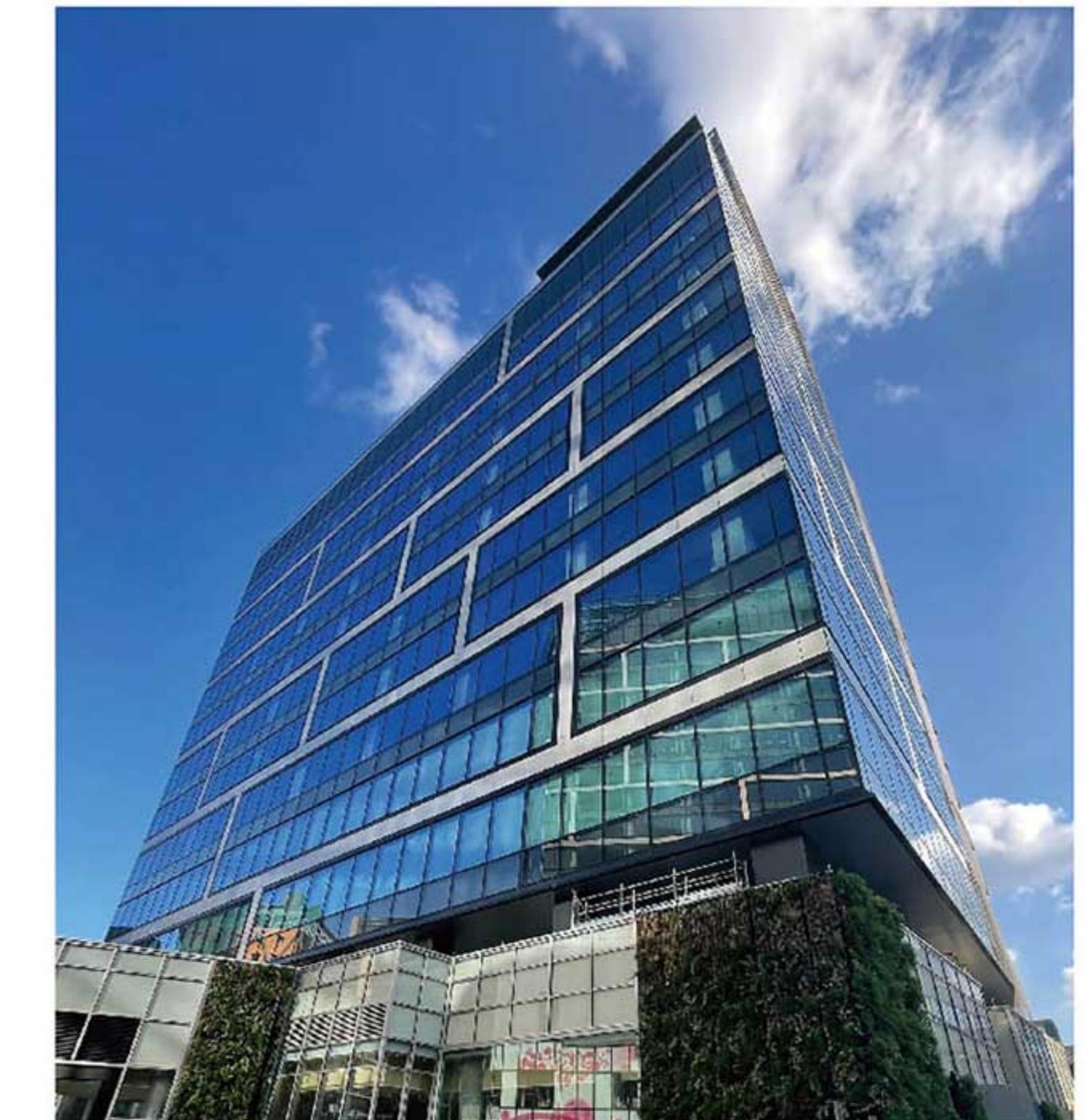
桜丘ウエスト地区でも再開発準備組合が発足し、渋谷桜丘は新しい街へと発展していきます。会員の皆様、そして地域の皆様、未来に向けたこれから渋谷駅前共栄会への幅広いご参加とご支援のほど、よろしくお願ひいたします。



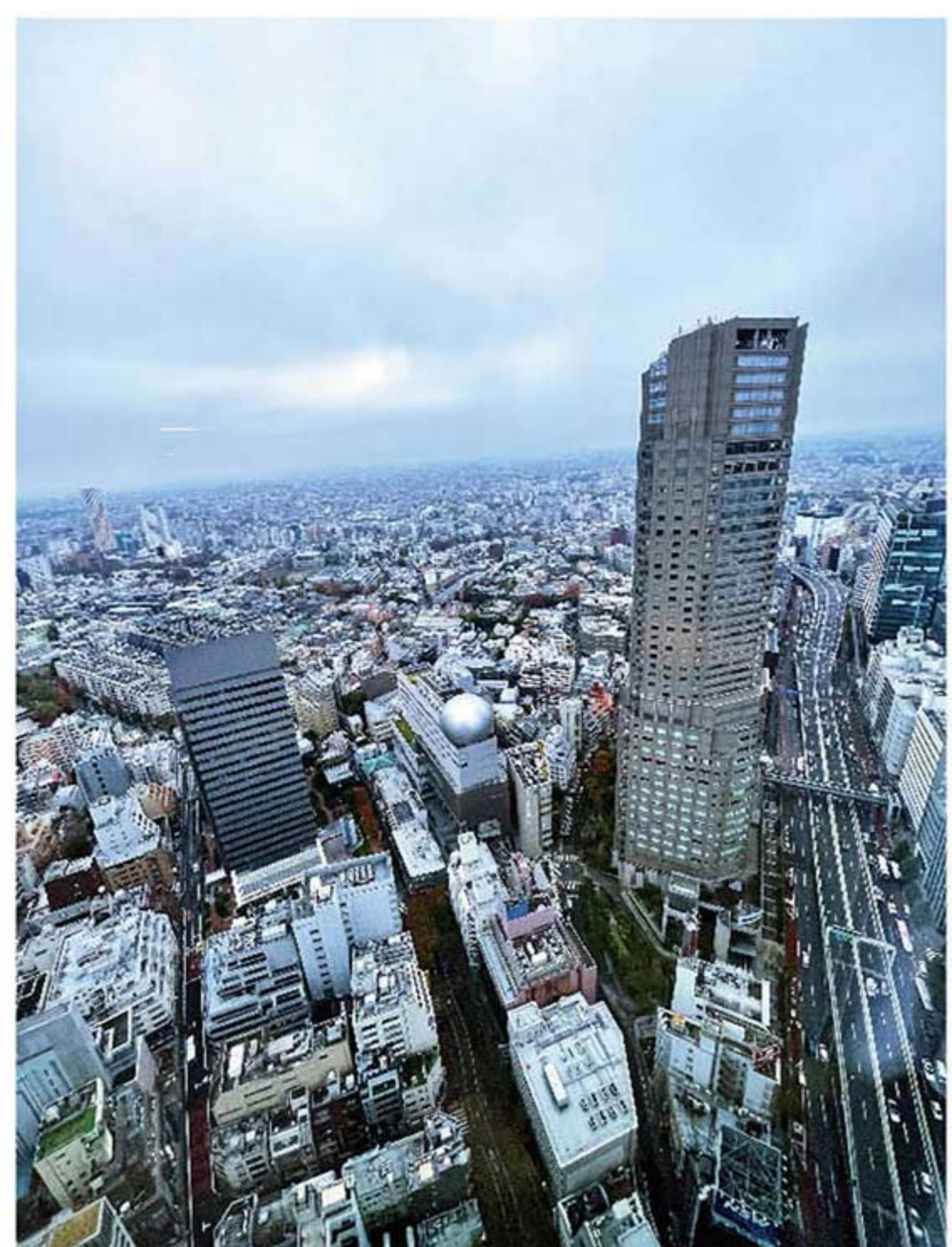
第18号線の新装飾灯



「渋谷サクラステージ」のSHIBUYAサイド



「渋谷サクラステージ」のSAKURAサイド



渋谷桜丘の街並み



「渋谷サクラステージ はぐくみ STAGE」



「渋谷サクラステージ はぐくみ STAGE」の
イルミネーション

A photograph showing a room interior with a large window overlooking the Tokyo skyline at night. In the foreground, there is a low table with a floral arrangement and two lit candles. A QR code is visible on the right side of the image.

A tranquil urban retreat.

渋谷を一望する、
静寂と優雅さに包まれた
アーバンリトリート。

CERULEAN TOWER TOKYU HOTEL

A photograph of the Shibuya Sakura Stage building, a modern skyscraper with a curved glass facade, set against a clear blue sky. The building is located in the heart of Shibuya, with a busy street and other city buildings visible below.

Shibuya Sakura Stage
2023.11.30 OPEN

Shibuya Sakura Stage

公式サイトは[こちら](#)

東急不動産

